



自然の中で、
私らしく、
好きを仕事に。



FORESTRY AGENCY

林野庁

for woman

MESSAGE

森林は、人々が豊かに暮らしていくために無くてはならないものです。

森林の効果を最大限発揮させて人々の生活に貢献できるように、
林野庁では様々な課題に取り組んでいます。

100年先の将来に向けて、森林を守り育てていくために何ができるのか。

これからの課題解決に向けては、多様な価値観を、バックグラウンドを持った
一人ひとりが、ともに森林の未来を考えていくことが必要です。

林野庁では、日本国土の3分の2を占める、
この広大な森林をフィールドとして幅広い業務を行っています。

多種多様な業務のなかで、一人ひとりの思いを、知識を、経験を活かせる
場所がきっとあります。

自然が好き。森林を守りたい。
そんな思いを持った職員が林野庁にはたくさんいます。
私たちと一緒に森林の未来を創りませんか？

本パンフレットでは、林野庁で活躍する女性職員の思いが綴られています。

ぜひ目を通していただき、
あなたのこれからのキャリアを考えるきっかけにしていだけますと幸いです。

CONTENTS

- 若手女性職員の声
- 職員紹介
- ワークライフバランス・働き方

若手女性職員の声

北海道森林管理局
網走南部森林管理署業務グループ係員
栗原 詩（一般職／林学）



メッセージ

自分のやりたいことを100%仕事にするには起業しないと難しいなと最近思います。仕事の枠を超えるやりたいこともあって当たり前で、それは仕事外で自分でやればいいんだと気づきました。私は人生の一部に森林管理があることが嬉しいです。皆さんは？

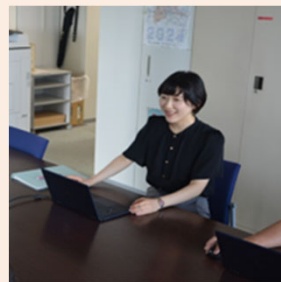
東北森林管理局三陸北部森林管理署久慈支署
業務グループ係員（経営・ふれあい担当）
角掛 美咲（一般職／林業）



メッセージ

有給休暇が取得しやすく、プライベートも充実させることができるのがこの職場の魅力だと思います。GWや年末年始などと組み合わせて長期の休暇を取得したり、フレックスタイム制で勤務時間を調整できるなど、自分にあった働き方ができると思います。

関東森林管理局
森林整備部技術普及課係員
湯川 愛（一般職／林学）



メッセージ

植林から伐採までの施業に加えて、治山など、ここまで森林に幅広く携わる職業は、そうそうないのではないのでしょうか。約3年おきに異動がありますが、いろんな人・場所・業務を知れるので、その点も個人的には面白いと思っています。

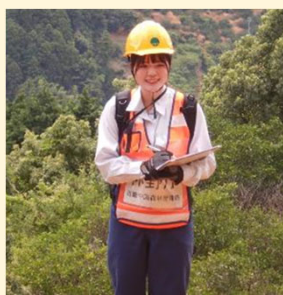
中部森林管理局木曽森林管理署
氷ヶ瀬森林事務所森林官補
鈴木 香乃（総合職／森林・自然環境）



メッセージ

専門的な業務が多い職場ですが、研修や日々の業務の中で知識を習得したり、経験を積んでいくことができますので、少しでも興味がある方は安心して入庁を検討いただければと思います。入庁して一緒に働けることを楽しみにしています！

近畿中国森林管理局和歌山森林管理署
紀伊田辺治山事業所係員
野崎 花音（一般職／農業土木）



メッセージ

自然が大好き！事務作業だけでなく現場にも出て仕事がしたい！という方にはぴったりの職場だと思います。それから、私もそうでしたが、学校で林業を学んでおらず、仕事についていけるか不安という方でも研修や上司からの指導をいただき、学びながら仕事を進めることができますので心配する必要はないです。ぜひお待ちしております！

四国森林管理局香川森林管理事務所
総務グループ係員（管理担当）
伊左 林里子（一般職／林学）



メッセージ

私は興味のあることを仕事にできているので、勉強がそれほど苦にならず仕事ができている気がします。興味のない事でも、興味を持てる点を見つけられる人になると強いと思います。仕事とプライベートを両立しやすい職場だと思うので、充実した社会人生活を送りたい方にお勧めです！

九州森林管理局
総務企画部経理課係員
金城 歩乃佳（一般職／事務）



メッセージ

今このパンフレットを読んでいるそのあなた！興味を持っていただけでしょか？？なかなか業務内容の想像がしづらいと思います、ぜひ、一度説明会へお越しください！一緒にお仕事できる日を楽しみにしています。



若手女性職員の声

Q 林野庁を選んだ理由は？

大学在学中に興味、関心を持った森林・林業・木材産業に関する政策の企画・立案に携われることと、幼い頃から自然環境や運動が好きだったので、現場の第一線で森林官として国有林の管理に携われることに魅力を感じました。
(鈴木さん/中部局)

学生時代から森林の分野に興味があり、大学（農学部）で学んだことを活かせる仕事につきたいと思い、技術職（林学区分）の公務員を目指しました。地元の県庁と迷っていましたが、調査の手伝いで行った阿蘇の人工林が忘れられず、地元を出て他の地域の森林にも関わりたいという思いが強くなり、勤務地が全国の林野庁を選びました。
(伊佐さん/四国局)

学生の頃に森林環境や緑化推進の講話を聞く機会があり森林学に興味を持ったことがきっかけです。また、職務内容は違いますが祖父が国家公務員だったこともあり、やりがいや大変さ等の話を聞いていく中で関心を持ち、少しでも関われる仕事をしたいと思い、志望しました。
(金城さん/九州局)



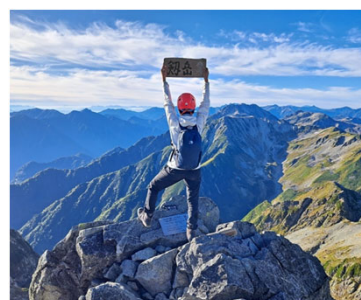
もともと自然が好きで、自然に関わる仕事に就きたいと思っていました。地元県庁の林業職も受けていましたが、県外に出てみたかったこと、そして入庁案内や採用面接時に出会った方々の人柄に惹かれたこともあり、林野庁への入庁を決めました。
(湯川さん/関東局)

Q 入庁してよかったことは？

担当してきた業務が総務・経理で、森林とは関係ないように感じられますが、幅広い業務を通して携われていることに喜びを感じています。職場では、多様な研修もあり、担当業務外の場所に行くこともでき、学ぶ機会がたくさんあり充実しています。
(金城さん/九州局)

職員には森林に長年携わってきた方、森林に興味のある方が多いので飲み会でも森林について話すことがあります。森林については友人等とはなかなか共有できない内容なので、興味のある分野について話せる仲間がいるのはとても嬉しいと思います。また、年休を取得しやすいので旅行やライブに行けるのが嬉しいです。
(伊佐さん/四国局)

「森を考える人」になれたことです。森林育成担当として森林管理に携わるうちに、どれだけ植付けの面積が残っているのか、どうすればそれらを解消できるか、将来的にどんな森にすべきかなど考えるようになりました。森林管理を通して得た知識は財産です。森のプロになれるようにもっと勉強します。
(栗原さん/北海道局)



(プライベート写真：剣岳山頂と北アルプスの山々)

日々多くのことを経験させていただき、少しずつ自分ができる仕事の範囲が増えていると体感できることです。今年度は事務的な業務が多かった過去2年とガラッと仕事内容が変わって現場での業務がメインになりますが、新しく経験する業務は上司や同僚にサポートいただきながら進めることができおり、充実した日々を送っています。
(鈴木さん/中部局)



私は現在、自然災害で発生した崩壊地の復旧作業に取り組んでおります。主に設計、積算、現場監督として、請負業者とのやり取りや工程管理を務めておりますが、工事が完成したときの達成感とやりがいとはとてもうれしいものです。日々行っている業務が、国民の生命や財産を守ることに繋がっていると考えると誇りをもって仕事することができ、この職場で良かったと感じております。
(野崎さん/近畿中国局)

若手女性職員の声

Q 入庁してギャップを感じたことは？



自然が好きで守りたいと思っている人ばかりではないことです。プライベートを大切にしたい人、専門知識を活かしたい人、山が好きな人など、仕事へのモチベーションは人によって様々。多様な仲間と仕事ができるのはいい刺激になります。
(栗原さん/北海道局)

森林、現場、調査といった単語を聞くと男性職員の方が多いイメージがありましたが、想像以上に女性職員の方が多かったというところが、入庁してギャップを感じたところです。日常的な相談もできる女性の上司や、同期がおり日々助けられています。
(野崎さん/近畿中国局)



とにかく勉強することだらけです。林学区分だから仕事がしやすい！というわけでもなく、まずは法令や文書、支払など森林に関すること以外も覚える必要があります。私は配属が総務グループ（経理）だったので、特に法令や事務処理を覚える必要がありました。逆にいえば、試験区分関係なく皆同じスタートです。行政区分だからといって気が引けることは一切ありません！（伊佐さん/四国局）

林業は女性職員が少ない印象を持っていたので、入庁するまでは少し不安でした。しかし、入庁してみるとたくさんの女性職員が働いており、男性女性関係なく、現場で活躍できる職場だと思いました。（角掛さん/東北局）

Q 職場の雰囲気は？

私が所属している課は職員が10名ほどしかいないため、課長との距離が近く（物理的にも）、仕事の合間にみんなで雑談することもあります。
(湯川さん/関東局)

とても明るくて話やすく相談しやすい職場だと思います。些細な質問でも分かるまで丁寧に教えてくださいますし、分からないことは一緒になって考え、答えを導き出してくれます。（野崎さん/近畿中国局）

日頃から上司や同僚とコミュニケーションが取れており、何事も相談しやすいです。また、年次休暇も取りやすく、仕事もプライベートも充実させることができます。私はプライベートで登山に行くことが多いのですが、担当業務の進捗次第で、土日とくっつけて年次休暇取得し、2泊3日で登山に行くこともあります。
(鈴木さん/中部局)



ベテランから若手まで幅広い年代の職員が勤務しており、担当の垣根なく協力しながら業務を進めています。また、署内は自分を含めて17人中5人が女性職員のため、仕事の相談に乗ったり、乗ってもらったりと話しやすい職場です。（角掛さん/東北局）



職員同士の交流が活発で、和やかな雰囲気のある職場です。知り合いがらず不安でしたが、職場の方が声をかけてくれる等心遣いいただいたおかげで、当初から現在まで前向きに仕事に取り組むことができます。また、先輩女性職員から家庭や育児事情を気軽に聞くことができるため、私生活においても大変心強いです。
(金城さん/九州局)

森林を通して国民の生命と未来の環境を守る



三浦 祥子（総合職／林産）

近畿中国森林管理局
計画保全部長

メッセージ

皆さんも、家族や学校、近所、さらに、趣味を通して、色々なつながりと経験が積み重なり、自分自身が作られていると思います。私自身、この職場に入ったことで、自然環境を大事に思う様々な方とのつながりや貴重な経験が、自分の人生観を大きく広げてくれたと感じています。

経歴

H06年 採用	林野庁業務部業務第二課係員
H07年	秋田局酒田営林署平田森林事務所 森林官
H08年	石川県庁へ出向
H10年	林野庁業務部業務第一課林道班補修係長
H11年	育児休業
H11年	育児休業復帰
H12年	林野庁林政部林産課特用林産企画班 需要開発係長
H14年	小笠原総合事務所国有林課長
H16年	林野庁森林整備部研究普及課国際研究連絡調整官
H17年	農林水産省大臣官房文書課企画官
H19年	農林水産省大臣官房企画評価課企画官
H20年	関東森林管理局山梨森林管理事務所長
H23年	独立行政法人森林総合研究所主任研究員
H25年	林野庁森林整備部研究指導課課長補佐 （普及教育班担当）
H26年	北海道庁へ出向
H29年	林野庁森林整備部治山課課長補佐（総括）
H31年	国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター上席参事
R03年 現職	近畿中国森林管理局計画保全部長

> 女性のキャリアパスについて

この職場に携わってから30年以上経過しましたが、子育てなど女性として大変だった時期は一時のことで、仕事自体において性別を意識することは無く、これまでの仕事を通した人のつながりと経験で自分の世界が広がってきたと感じています。

また、管理職になって、自分自身の判断と言動が組織全体に影響を及ぼすことに責任を強く感じるようになり、難しい判断が必要な場面も多くなりました。

しかしながら、困難な案件を周りの皆と共に乗り越えて対応できた時には達成感もあり、業務にやりがいを感じています。

> 印象に残っている出来事

これまでの業務で印象に残る経験は、小笠原諸島の父島に赴任した時のことです。国有林の保全管理に従事したことで、地域住民やボランティア達と協力して、小笠原諸島のみに生息・生育する固有種の保全のため、外来種の駆除活動や固有樹種の植林や保全活動など、森林の環境改善に取り組みました。その業務において、森林が持つ豊かな生態系や人の生活との関わりの重要性を改めて認識させられたと同時に、環境保全に向けて、森林を管理する林野庁として関係者などとの調整に取り組む意義を強く感じる事ができた経験でした。

> 仕事とプライベートの両立について

基本的に就業日と休日のオン・オフの切り替えがはっきり出来ますし、通信環境があれば職場のネットワークにつなげられるPCを全職員が所持していますので、テレワークが簡単に出来るようになりました。

また、地方勤務であれば、通勤も短時間で就業時間外の生活に余裕がありますので、性別を問わず、ワークライフバランスを実現できる環境が整っています。



ICTと自由な発想力を活かして 森林の保全や林業の発展に貢献する魅力的な仕事



安藤 暁子（一般職／行政）

林野庁国有林野部経営企画課
課長補佐（事務管理班担当）

メッセージ

森林は水源かん養や国土保全、生物多様性保全と様々な重要な役割を担っています。その役割を最大限に果たしてもらえよう森林を適切に管理することが私たちの使命ですが、同時に豊かな自然に癒しと感謝を感じられる素敵な仕事です。

経歴

H08年 採用	高知営林局総務部経理課係員
H09年	高知営林局中村営林署浮瀬森林事務所森林官
H12年	四国森林管理局四万十森林管理署 総務課経理第四係長（窪川事務所）
H14年	四国森林管理局総務部総務課秘書係長
H17年	四国森林管理局総務部経理課収入係長
H20年	四国森林管理局計画部指導普及課緑の普及係長
H20年	四国森林管理局企画調整室監査係長
H23年	四国森林管理局総務部経理課収入係長
H24年	四国森林管理局四万十川森林ふれあい推進センター 自然再生指導官
H27年	四国森林管理局計画保全部計画課経営計画官
H29年	四国森林管理局森林整備部技術普及課課長補佐
R02年	四国森林管理局森林整備部技術普及課企画官 （民有林連携担当）
R04年	林野庁森林整備部研究指導課技術開発推進室 技術革新企画官
R06年 現職	林野庁国有林野部経営企画課課長補佐 （事務管理班担当）

> 現在の仕事内容・やりがい

国有林野の森林情報や事業の実行管理を行う国有林野情報管理システムの運用や次世代システムの整備に関する仕事を行っています。また、森林総合監理士として、GIS（地理情報システム）やUAV、GNSS、レーザ計測などを活用した森林調査、資源解析等の実証、また利用について民有林等への支援業務を行っています。

研究者や現場技能者、開発企業と新しい技術の活用についてアイディアを出し合い、試行錯誤しながらも前進していくことで、達成感やモチベーションを得ています。

労働力人口の減少が予想される森林・林業ですが、更にベテランの知識や技術をICTに取り入れ、より地域に合った効果的、効率的な森林管理・林業が行えるよう、新技術が人をサポートする仕組みを作り上げたいと熱い思いで日々取り組んでいます。

> 印象に残っている出来事

数えきれないほど。採用後間もない森林官時代、境界巡視中に大正時代の植栽記録が刻まれた石碑を見つけ、丁寧に彫られた文字と時間の経過に先人から受け継がれている事業の重みと次代へ繋ぐ責任を感じました。また、調査帰りの山道から見たオレンジに染まる夕焼けの宇和海、木漏れ日注ぐ緑に覆われた森林鉄道軌道敷の跡など、息を飲む絶景には疲れが吹き飛びました。

ICTの活用を推進するきっかけにもなりましたが、森林管理にICTを活用するようになって、労働負荷が大幅に削減し、情報の可視化、デジタル化により共有が容易になったり、各工程でのミスが減ったり、とその効果に驚きました。体力のない女性でも、新たに林業を始めたという未経験者でも、林業に特化した各種ツールを利用して、森林管理・林業に必要な技術を学び、データを取得、活用できるようになっています。

> 仕事とプライベートの両立について

英文専攻の経験も活かしたいと善意通訳クラブ等に所属し20年余りボランティアの観光ガイドや通訳活動を続けています。ボランティアを通して知り合った世界各地の友達とSNSで交流したり、現地を訪ねたり、また、国際交流を行う仲間と高知県のPRにサンフランシスコまでよさこい踊りを披露しに行ったこともあります。その他、地方転勤の機会を活かして、地域の和太鼓クラブや森林ボランティア、キッズ英会話教室のお手伝いなど様々な活動を楽しんでいました。



『人と技術で育む森林づくり』～森林の魅力発信と林業知識の普及～



木村 雅代（一般職／林学）

北海道森林管理局森林整備部
技術普及課課長補佐

メッセージ

各種休暇や制度も充実しており、仕事とプライベートの両立がしやすい職場です。職場環境や研修制度も整い、年々女性職員が増えています。デスクワークだけでなく森林管理の現場に携わることができるのも魅力です。

経歴

H09年 採用	北海道営林局企画調整部業務調整課係員
H10年	北海道森林管理局石狩森林管理署小樽内森林事務所森林官
H14年	北海道森林管理局森林技術第一センター総務係長
H14年	北海道森林管理局森林技術第一センター業務第二係長
H16年	北海道森林管理局販売第一課市況調査係
H16年	育児休業
H17年	育児休業復帰
H18年	北海道森林管理局総務部経理課計理主任
H20年	育児休業
H21年	育児休業復帰
H22年	北海道森林管理局森林整備部技術普及課緑の普及係長
H26年	北海道森林管理局石狩森林管理署首席森林官（札幌、野幌担当区）
H29年	北海道森林管理局空知森林管理署首席森林官（由仁、継立担当区）
R02年	北海道森林管理局空知森林管理署首席森林官（桂沢、幾春別担当区）
R04年	北海道森林管理局空知森林管理署森林技術指導官
R06年 現職	北海道森林管理局森林整備部技術普及課課長補佐

> 女性のキャリアアップについて

子育て期間中は、ある程度自己裁量で業務配分ができる外業中心の現場勤務を長く経験しました。また、子供が大きくなってからは、これまでの現場勤務経験を活かし、自治体等関係機関との連絡調整や、地域に必要な森林整備に係る林業技術と知識の普及など、民有林を支援する業務にも携わってきました。

さらに現在は、これら森林・林業の普及を図る人材を育成する立場として、新たな仕事に取り組んでいるところです。

このように、ライフステージにあわせた仕事の選択に配慮をしてもらっていることに感謝をしながら、目の前にある業務を丁寧に対応することを心掛けてきました。その結果が現在のキャリア形成につながっているように思います。

> 印象に残っている出来事

若い頃に、様々な対象者向けに森林環境教育を実施する機会に恵まれ、森林・林業に親しみ、理解をしていただくための活動が好きになりました。得意分野とまではいきませんが好きな業務があるとそれが強みになることがあります。実際、民国連携を推進する業務に携わった時に、地域林業の課題を解決する取り組みとして、北海道や市町村等関係機関と連携しながら各種会議や現地勉強会を初めて開催する側にまわった時は、イベントを開催するような心づもりで実施しました。様々な関係者と顔を合わせ会話を重ねることで双方の理解が深まっていく過程にやりがいを感じました。

> 仕事とプライベートの両立について

子供を通じて地域とのつながりや母たちのかかわりもでき、時短料理やお菓子作り、裁縫を教えてもらう機会を得るなど生活の幅が広がりました。忙しい毎日でしたが次第に時間の使い方が上手になり、職場以外に居場所があることで心のバランスもとることができました。子供が大きくなると私の帰宅が遅いときは夕飯の支度や洗濯など手伝ってくれるようになりました。夫も家事には協力的で家族の応援は心強いです。



四季折々の自然と年間を通じてふれあう



齊藤 未知香（一般職／林学）

東北森林管理局
岩手南部森林管理署石鳥谷森林事務所
森林官

メッセージ

様々な勤務地で、その土地の良さを感じながら、日々の業務を行っています。
日々、自然とふれあうことができるこの職場で一緒に働いてみませんか。

＞現在の仕事内容・やりがい

国有林には、森林や渓谷などの魅力あふれる場所が数多くあり、多くの人々が四季を通じて利用しています。そのような中、仕事のひとつとして、魅力あふれる自然や木材に親しむ機会を提供するため、森林環境教育等のイベントによる普及啓発活動があります。

昨年は、活動の一環として県主催のイベントにブースを出展し、松ぼっくりなどを使った「森林クラフト」、紅葉や押し花をラミネートする「しおり作り」や「丸太切り体験」の3種類を用意し、子供から大人まで多くの来場者に楽しく体験していただきました。今後もこのようなイベントを通して、普段あまり自然に親しむ機会のなかった方の最初の一步をお手伝い出来たらと思っています。

経歴

H29年 採用	東北森林管理局津軽森林管理署総務グループ係員
R02年	東北森林管理局三陸北部森林管理署業務グループ 森林整備官
R05年現職	東北森林管理局岩手南部森林管理署石鳥谷森林事務所 森林官

＞仕事とプライベートの両立について

全国各地に勤務地があり、定期的に転勤がある職場なのですが、今まで行ったことのない土地に住めるのは新鮮で楽しいです。

現職は現場へ出ることが多く、当初は現場までの道順や地名を覚えるのが大変でしたが、今では新しいルートを開拓し、気になる場所を見つけたら休日に遊びに行くなど楽しみながら日々の業務に励んでいます。

また、昨年に結婚し、夫と同居できる範囲の勤務地に勤めさせてもらっており、非常にありがたく感じています。

＞職場の雰囲気

石鳥谷森林事務所では、森林官と期間雇用の非常勤職員の3名体制で日々の業務を行っています。広い管内であるため、人手が多く欲しい業務もあります。そのようなときには、近隣の森林事務所や本署に協力をお願いをするのですが、応援体制が構築されているため皆さん快く引き受けてくれます。

また、一緒に作業する中で、業務をスムーズに進めるためのアドバイス等をもらえるので、とても勉強になります。



ワークライフバランス・働き方

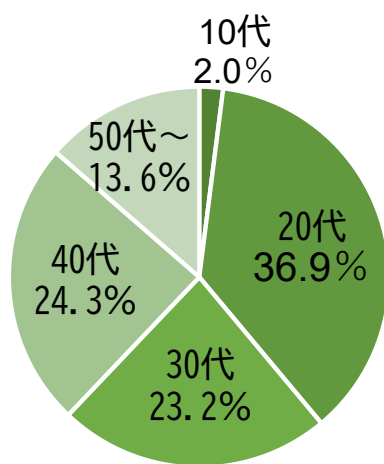
林野庁の職員全体でみると、現在の女性割合はおよそ2割です。
しかし、全体の女性職員割合は年々増加傾向にあります。

特に近年は、新規採用者のうち約3割は女性です。女性職員の年代別割合をみると20代の女性が最も多く、若手が活躍できる環境となっています。

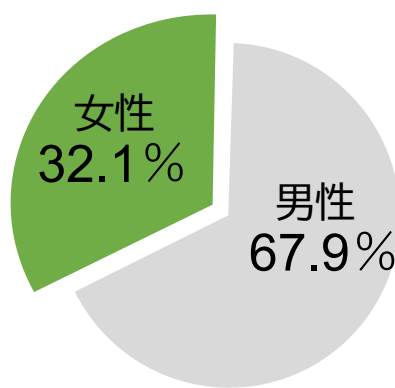
また、女性職員の中には育児休業を経て、仕事と家庭を両立しながら活躍している方もたくさんいます。

林野庁では、すべての職員が、それぞれのライフスタイルに応じた多様な働き方ができるよう、各種制度を利用することができます。

女性職員の年代別割合



令和6年度新規採用者
男女比率



多様な働き方

▶テレワーク勤務

ICTを活用し、自宅等において勤務することができる制度です。
育児や介護を行う職員だけでなく、目的を問わず全ての職員がテレワーク勤務できる体制が整っています。

▶早出遅出勤務

1日の勤務時間を変えずに全ての職員が始業時間を7時から13時までの幅広い時間帯で柔軟に設定することができます。

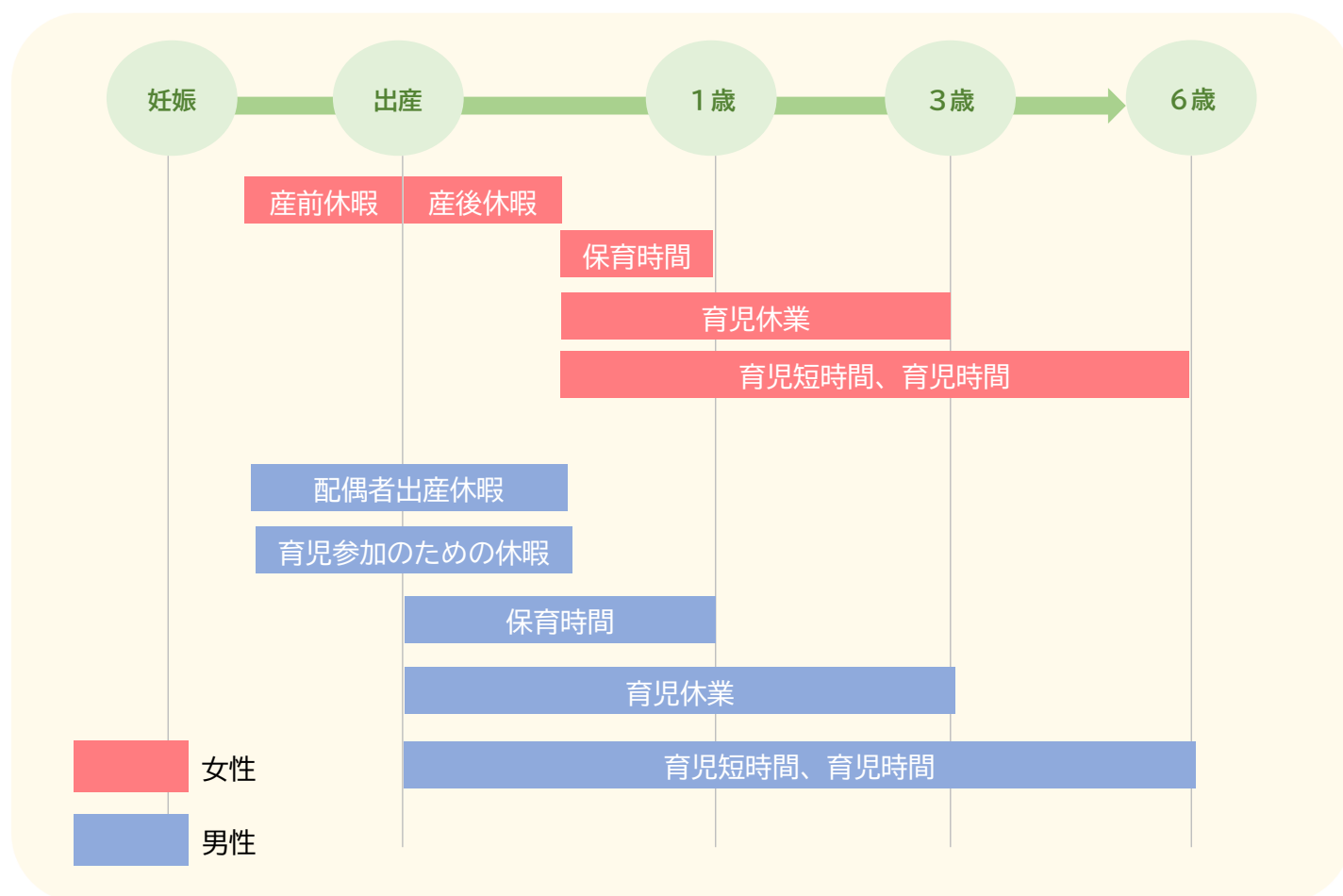
例えば、林野庁本庁の基本の勤務時間は9時30分から18時15分までですが、10時から18時45分までというように変更することが可能です。

▶フレックスタイム制

総勤務時間数を変えないまま、始業・終業時間を自らのライフスタイルに合わせて柔軟に設定することができる制度です。

ワークライフバランス・働き方

仕事と家庭の両立支援のための主な休暇制度

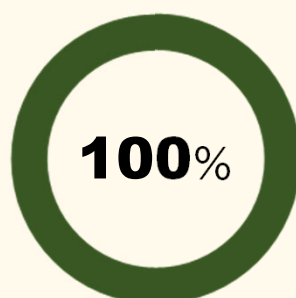


林野庁では、女性も男性もともに働きやすい職場環境となるよう、ワークライフバランス推進に取り組んでいます。

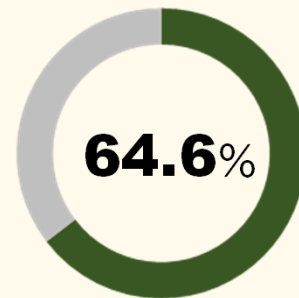
令和4年度の調査では、女性の育児休業取得率は100%、男性の育児休業取得率は50.8%となっています。

「男の産休」とは、男性職員が子どもの出生後1年以内に1ヶ月以上、育児に伴う休暇・休業を取得する取組です。特に「配偶者出産休暇」は83.1%の男性職員が取得しています。

女性職員の
育児休業取得率



男性職員の
「男の産休」取得率※



※「男の産休」取得率は、配偶者出産休暇及び育児参加のための休暇のうち合わせて5日以上取得した職員数

自分らしいワークライフバランスで充実したライフスタイルを



中井 智美(一般職／林学)

近畿中国森林管理局
京都大阪森林管理事務所箕面森林事務所
森林官

メッセージ

みなさんそれぞれ人生プランがあると思いますが、女性はライフステージごとに想定外のことにも直面することも多いです。理想とする人生を過ごせるよう、活用できる制度や環境を利用して、自分の可能性へ挑戦しつづけてほしいと思います。

＞現在の業務内容・やりがい

私が担当している森林官の仕事は、管轄する国有林の中を歩き回るのが基本となる業務です。具体的な業務内容は、森林の育成状況を調査して植林・伐採等について検討、災害の未然防止の為に調査及び整備作業、土地の境界管理、各種事業監督、国有林を利用される国民の皆様への対応、野生鳥獣対策等に加え、災害時等緊急時の現場確認等、業務内容は多岐に渡ります。

すべての業務が、目の前にある国有林の現場と直接つながるのでとてもやりがいを感じます。現場踏査し確認した情報をもとに、関係者と調整しながら業務を進めていきます。自分一人での作業、協力者との作業、国の政策や予算を利用した様々な規模の事業であったりと形は様々ですが、森林環境が変化していく一連の動きに現場で携わることができ、達成感を強く感じるができます。

＞仕事とプライベートの両立

森林官の仕事はとても楽しくやりがいがあり業務時間は足りないくらいなので、心がけて、家庭生活の時間を作るようにしています。特に2歳と8歳の子どもの時間は最優先し、お迎え時間厳守、学校行事等は必ず出席など、自分のルールを決め業務時間を短縮、業務内容を妥協してでも時間を作るように努めています。様々な制度・周囲の理解等、職場環境に恵まれ、セルフマネジメント次第でライフスタイルにあう働き方ができることに常々感謝を感じています。



1 day

5:30	起床、家事
7:40	子どもの送迎(夫)
8:30	出勤 メールチェック、事務作業、現場業務準備
9:00	現場業務(収穫調査、境界巡視、被害木調査、森林パトロール等)
12:00	昼食(現場国有林内等で食べる)
12:30	現場業務(請負事業監督、森林整備等)
16:00	事務作業、メールチェック
16:45	退勤
18:00	子どものお迎え(保育所、学童保育)
21:00	子ども就寝、夫帰宅、家事
0:00	就寝

POINT

- ▶育児時間、フレックス制度、テレワーク勤務を利用
- ▶育児休業復帰後は育児短時間制度を利用。その後実際のライフスタイルと検討してフレックスタイムに変更。自分の生活に沿ったスケジュールなので、無駄がなくなり、仕事も育児も効率よく取り組むことができるようになりました。



台風風倒木被害地の調査の様子



仕事も育児も全力で！



一山 祐子(一般職／林業)

九州森林管理局
熊本森林管理署総務グループ
事務管理官(管理担当)

メッセージ

この職場では、多種多様な業務を経験する機会があります。全く違う業務でもどこかで繋がっていて、すべての経験が自分の糧になります。ぜひ一緒に働きましょう！

＞現在の業務内容・やりがい

今、私が担当している仕事の一つに土地の貸付・売払業務があります。担当になってすぐの頃に自治体から売払いについての相談あった時は、売払いできる条件が整っているかや売払場所の確定、土地価格の算出など分からないことだらけでした。不安もありましたが、とにかく上司や同僚などたくさんの方に相談しました。一つ事が進んではまた次の壁・・・の繰り返しでしたが、たくさんの方の知識を得ながら、なんとか売払いの契約まで済ませ、すべてが完了した時は「終わったー！」という達成感で喜びや充実感が得られました。

＞仕事とプライベートの両立

子供3人それぞれ約1年の育児休業を取得し、復帰後も育児時間を活用して出勤を30分遅らせていました。転勤や子供が成長するにつれ状況も変わり、今はフレックス制度を活用して、長男を小学校へ送り出し、次男、三男をこども園に送ってから出勤しています。お迎えもあるため、定時ピッタリに退勤する日がほとんどですが、その分いかに効率よく業務を進めるか考え、メリハリをつけた働き方ができています。周りの方々にもたくさん助けていただき、私も1人で抱え込まず頼れる環境に日々感謝しながら、仕事も育児も充実した日々を過ごしています。

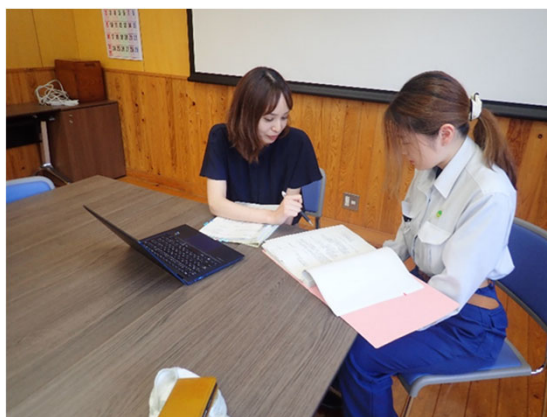
1 day



5:30	起床、お弁当作り
7:20	子ども(小学生)の見送り
7:40	子ども(こども園)を送り、そのまま職場へ
8:45	出勤 メールチェック、書類作成
12:00	昼休憩
12:30	書類確認
14:00	打合せ
17:00	退勤
18:00	子どものお迎え、家事
22:00	就寝

POINT

- ▶フレックス制度利用、休憩時間の短縮
- ▶勤務時間を8:30～17:15 → 8:45～17:00に変更
うち休憩時間を60分から30分に短縮
→朝も少しだけ時間に余裕があり、夕方のお迎え時間にも間に合う



よくある質問

Q 現場業務は大変ですか？

A 現場業務は、山で作業することがあるので、ある程度の体力は必要です。ただ、基本的には1人ではなく数名で作業をすることになりますので、協力しながら、自分たちのペースで作業を進めることはできます。

Q 宿舎はありますか？

A 林野庁が管理している宿舎や、他省庁と合同で使用している宿舎がありますので、そちらに入らせていただくことができます。若手職員には優先的に割り当てられることが多いので、「宿舎が空いて無くて入れない」ということはまずありません。
宿舎料については基本的に民間の賃貸物件よりも安いですが、新しいものから古いものまで様々な宿舎があります。

Q 転勤の頻度は？

A 異動はおおむね2年～3年の間隔で発生します。一般職採用者の場合、異動する範囲は基本的に「自分が最初に配属された森林管理局の管内」のどこかとなります。
ただし、転居を伴わない署内異動となることもあったり、希望すれば他の森林管理局や林野庁本庁に異動して多様な経験を積むことができる制度もあります。

Q 試験区分によって仕事の違いはありますか？

A 林野庁においては、一般職採用者であれば、基本的に試験区分による業務内容の違いはありません。行政区分の方であっても現場業務を行う部署に配属された場合、現場業務に行くことがあります。
令和7年度からは行政区分の採用者向けに「総務系キャリアパス」制度を新設しました。行政採用の方は希望すれば総務系業務を中心として経験を積んでいくことができます。



国民の森林・国有林 林野庁

〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1 TEL 03-3502-8111(代)
林政部林政課:内線6005 国有林野部管理課:内線6256
<http://www.rinya.maff.go.jp/>
〔交通〕地下鉄霞ヶ関駅(丸ノ内線、日比谷線、千代田線)下車 農林水産省7F

採用情報はこちら



北海道森林管理局

〒064-8537 北海道札幌市中央区宮の森3-7-70
TEL 011-622-5232(総務課)
<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

東北森林管理局

〒010-8550 秋田県秋田市中通5-9-16
TEL 018-836-2014(総務課)
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>

関東森林管理局

〒371-8508 群馬県前橋市岩神町4-16-25
TEL 027-210-1156(総務課)
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>

中部森林管理局

〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5
TEL 026-236-2525(総務課)
<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/>

近畿中国森林管理局

〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋1-8-75
TEL 06-6881-3420(総務課)
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

四国森林管理局

〒780-8528 高知県高知市丸ノ内1-3-30
TEL 088-821-2010(総務課)
<http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

九州森林管理局

〒860-0081 熊本県熊本市西区京町本丁2-7
TEL 096-328-3500(総務課)
<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/>

森林技術総合研修所

〒193-8570 東京都八王子市廿里町1833-94
TEL 042-661-7121(総務課)
http://www.rinya.maff.go.jp/j/kensyuu/kensyuu_zyo.html